

特定非営利活動法人

明るいシステム倶楽部 会報10月号

令和3年10月1日

(2021年)

今年は、7月下旬から9月初旬にかけて、東京五輪および東京パラリンピックが滞りなく無事終了しました。日本国としては、コロナ禍で実施運営上も多くの課題があったにせよ、世界に向けて大役を果たす一方、国内の鬱積した気分が少しは緩和されたように思います。

さて、コロナ禍に対する政府の対応として、緊急事態宣言を9月末まで再延長しましたが、新たな有効策については未だに思いあぐねているようにも見えます。

ただ、半ば診療放置状態であった多数の自宅療養者に対して、有力な医師会を巻き込み、訪問診療を含む施策をようやく本格化できたことは、一つの救いだったように思います。

お蔭で、コロナワクチン接種の普及と相まってか、最近ではPCR陽性者数の大幅な減少と共に、目に見えて重症者数が減少傾向にあるのはよい兆候だと思えます。

一方、当倶楽部の動きですが、第55回明るいセミナーにつきましては、先に触れました宣言の延長期間に重なり、急遽開催を断念せざるを得なくなり、6月の開催の中止に続き、皆様には大変ご心配をおかけいたしております。次の12月開催につきましては、是非とも実現いたしたく、今後も開催に向けてしっかり準備したいと思えます。

ところで、近頃は「ウィズコロナ」という言葉がよく聞かれます。いずれコロナ禍は収束するでしょうが、今後も長期戦を覚悟せざるを得ないようです。従って、当倶楽部の日常活動もAKS市民大学に象徴されるリモート方式の事業を意識的に増やしつつある状況です。

リモート会議は万能ではありませんが、リアルとうまく組み合わせて種々の活動を行うことが、今後の新しい流れになるのかもしれませんが。私達も決して習熟している訳ではなく、皆様方には当倶楽部に対し、今後とも種々お力添え頂きますようお願いいたします。

< 10月の送付物 >

- ・日本一明るい経済新聞 10月号
- ・年会費納入のお願い（該当者のみ）



< 10月の活動予定 >

10/9(土)	「気楽なZOOMサロン」⑪	当倶楽部会員専用の交流の場です。	20:00～21:30
10/15(金)	仏教雑学講座	河本 雪夫 会員	17:30～19:30
10/20(水)	臨時役員会議⑩	「明るいシステム導入のメリットほか」	13:30～15:30
AKS市民大学 (ZOOM)			
10/13(水)	菊池教室⑨	「感性を育む和学講座」	20:00～21:30
10/23(土)	宮崎教室	「もやもや解決法」	20:00～21:30
10/27(水)	柴原・松居教室②	「みんなで考える明るい職場」	20:00～21:30



大阪市には、「オアシス運動」を実施している小中学校が多くあります。オアシスは、「オ」（おはよう）、「ア」（ありがとう）、「シ」（失礼します）、「ス」（すみません）の略。挨拶をしましょうという教育の一環です。

なぜ、挨拶をしなければならないのでしょうか？

私は、コミュニケーションの基本である挨拶が、3つのキャッチボールをしているからだと思います。一つ目は言葉のキャッチボール、二つ目は情報のキャッチボール、三つ目は気持ちのキャッチボールです。たとえば「おはようございます」には、こんなに早くからお仕事されているのはあり得ないことです、ご苦労様ですという気持ちがあります。また、挨拶に付け加えられる「いいお天気ですね」「今日は暖かいですね」なども、同様にコミュニケーションに必要な意味があるでしょう。仕事が忙しいんだとか、あの人の業界は景気がいいな、などの分析もできるかもしれません。会話は挨拶することから始まります。

近年、挨拶できない子供や新入社員が多くなったと聞きます。言葉と情報は知っているのに、感謝や労いや配慮などの伝えるべき「気持ち」が欠落しているのではないのでしょうか。言葉が気持ちや意味を伝えるためにあることを考えれば、見えている又は聞こえているものの後ろに隠れている、見えていない、聞こえていないものを大切にしたいものです。伝えたい感謝や、愛情をまず挨拶で伝えたいものです。

よく、コミュニケーションはキャッチボールにたとえられます。これは双方向で、一方通行ではないですよという意味ととらえられますが、もう一つ、投げたボールが返ってくるという意味もあるでしょう。優しい言葉を投げれば優しい言葉が、丁寧な言葉には丁寧な言葉が返ってくるでしょう。

中原中也に春日狂想という詩があります。「愛するものが死んだときには、自殺しなけ
なりませぬ 愛するものが死んだときにはそれより他に、方法がない」と始まります。これは子供を亡くした中也が編んだものということですが、続いて、それでも生き続けるときに持たなきゃならない心得が続きます。それは、奉仕の気持ち、本なら熟読、人には丁寧、テンポ正しく散歩、知人に会えばにっこり笑う、鳩には餌を・・・と続きます。大変長い詩ですが、普通の暮らしをしていて見ていないこと気づいていないことに目を向け、出会った人には感謝と敬意を表しましょうということではないかと拝察します。

知人でも他人でも出会った今日は一度限り、一期一会に感謝して挨拶をしたいものだと思う今日この頃です。